

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	図書館	総務係	内線等	3402
----	-------	-----	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	一般図書事務事業				
根拠法令等	図書館法第3条		Ⓐ法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象	図書館利用者に
手段	一般図書を提供することによって
想定する成果	図書館利用者のニーズに応える一般図書の充実と、貸出し数の増加

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
一般図書	冊	冊	冊
蔵書数	174,124	170,135	172,000
貸出数	172,014	174,802	184,000

目標値

成果指標名	一般図書の貸出率
成果指標の説明	貸出冊数 / 蔵書冊数

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画			110.0%
	実績	98.8%	102.7%	
事業費	事業費	42,349,980円	42,669,871円	45,633,375円
	人件費	39,359,360円	46,545,345円	50,834,700円
	(人数)	5.0	6.0	6.0
	合計	81,709,340円	89,215,216円	96,468,075円
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	81,709,340円	89,215,216円	96,468,075円

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	図書収蔵能力からすると一般図書の配架は目いっぱいであるが、さらに適正な選書をするとともに、分室図書の充実を図る。
効率性	6	6	全体的な業務のシステム化で手作業を減らしていきたい。
公共性	10	10	図書館法に基づき市民のニーズに応えるため市が運営している。
緊急度	6	6	情報化社会のニーズに対応するため、収蔵能力の増加が要求される。
小計	28	28	
市民参加度	10	10	リクエスト等の市民の意見を聞いている。
合計	38	38	
総合評価	B	B	現在の事業でかなり市民のニーズに応える事業内容となっていると思われるが、さらにリクエスト等に応え一般図書の利用促進を図っていく。現在の施設でより効果的な運営ができるよう工夫する必要がある。

これまでに実施した改善点

達成度	公立図書館として市民の志向にあった図書資料の収集を行った。
効率性	職員・非常勤職員を増加し時間延長の対応をした。
公共性	
緊急度	市民のニーズに対応し開館時間を早急に実施した。
市民参加度	リクエストを行い利用者ニーズに応えた。

今後の改善すべき点

達成度	分室の利用時間を延長して貸出し増を図る。
効率性	限られた予算内で図書購入の精査を行っていく。
公共性	
緊急度	インターネット検索から予約ができるようにする。
市民参加度	ボランティアに図書館運営に加わっていくことを検討していきたい。